ほんごう

札幌市立本郷小学校
学校だより
令和８年７月２４日
No. 5

「分かる」喜びが学びを変える

教頭 若宮 香織

明日から子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。保護者・地域の皆様には、本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

本校では6月から教室のエアコンを稼働し、子どもたちが安心して学習に取り組める環境づくりに努めてきました。一般的に、気温が 25 度を超えると脳の温度が上がりやすくなり、情報を処理する力や集中力が徐々に低下し始めるといわれています。快適な室温を保つことは、子どもたちの学びを支える大切な条件の一つです。

6月から7月にかけては、複数の学年で算数の少人数指導を実施しました。学級全体での授業では、一人一人が活躍する場面を十分に確保したり、子どもたちそれぞれのつまずきにその場で対応したりすることが難しい場面もあります。少人数で学習することで、自分のペースで考えたり、必要に応じて前の学年の内容に戻って学び直したりしながら、今の学習へとつなげることができます。

私も一つのグループを担当しましたが、学習を終えた子どもたちが「教頭先生、いつもよりテストの点数が良かったよ!」と笑顔で報告に来てくれました。その表情からは、「分かった」「できた」という喜びと、自信が伝わってきました。子どもたちが成功体験を積み重ね、自ら学ぶ意欲を高めていく姿をたいへん嬉しく感じました。

学習に集中しやすい環境の中で、一つ一つの学びにじっくり向き合うこと。そして、学んだことが他の教科や日常生活と結び付き、「使えた」「役に立った」という経験を重ねていくこと。それらの積み重ねが、自分の成長を実感し、次の学びへの意欲につながっていくのだと考えています。

明日から始まる夏休みは、学校ではできない様々な体験ができる貴重な時間です。読書や自由研究、家族との時間、地域での活動など、一人一人が興味や関心を広げ、新しいことに挑戦する機会にしてほしいと思います。また、暑さが厳しい日が続きますので、規則正しい生活を心がけ、熱中症対策を十分に行いながら、安全で健康な毎日を過ごしてほしいと願っています。

夏休み明けからも、温かいご理解とご協力を、よろしくお願い申し上げます